

日本BS放送株式会社

2025年8月期 第2四半期

(決算補足説明資料)

2025年4月10日



証券コード: 9414

I	決算概況	P2
II	重点実施事項トピックス	P10
III	通期計画	P17
IV	(ご参考)会社概要	P21

I 決算概況



2025年8月期 第2四半期（連結）

売上高 **5,889百万円**（前年同期比 0.8%減↓）

営業利益 **1,159百万円**（前年同期比 25.0%増↑）

2025年8月期 第2四半期（個別）

売上高 **5,534百万円**（前年同期比 0.2%減↓）

営業利益 **1,192百万円**（前年同期比 29.6%増↑）

売上高は**5,889**百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は**1,159**百万円（前年同期比25.0%増）、
親会社株主に帰属する中間純利益は**801**百万円（前年同期比24.9%増）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2024年8月期 第2四半期 累計	2025年8月期 第2四半期累計						
		実績	前年 同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な増減要因（前年同期比）
売上高	5,936 (100.0%)	5,889 (100.0%)	△0.8%	△46	5,906 (100.0%)	△0.3%	△16	
売上総利益	2,768 (46.6%)	2,947 (50.0%)	6.5%	179	2,787 (47.2%)	5.8%	160	(売上高) ・放送事業収入… △53百万円 ・その他収入 … +38百万円 ・その他収入(子会社) … △31百万円
営業利益	927 (15.6%)	1,159 (19.7%)	25.0%	231	957 (16.2%)	21.1%	202	(売上原価) ・番組制作費… △190百万円 ・減価償却費… △66百万円
経常利益	930 (15.7%)	1,174 (19.9%)	26.2%	243	970 (16.4%)	21.1%	204	(販管費) ・広告宣伝費… △80百万円
親会社株主に帰属 する中間純利益	642 (10.8%)	801 (13.6%)	24.9%	159	660 (11.2%)	21.5%	141	

貸借対照表/キャッシュ・フロー計算書の概要（連結）

貸借対照表

(単位: 百万円、下段は構成比)

		2024年8月期末	2025年8月期	
			第2四半期末	前年増減額
	流動資産	17,041 (65.8%)	16,294 (63.0%)	△747
	固定資産	8,852 (34.2%)	9,550 (37.0%)	697
資産合計		25,894 (100.0%)	25,845 (100.0%)	△49
	流動負債	2,166 (8.4%)	1,832 (7.1%)	△334
	固定負債	128 (0.5%)	129 (0.6%)	1
負債合計		2,295 (8.9%)	1,962 (7.7%)	△332
純資産合計		23,598 (91.1%)	23,882 (92.3%)	283
負債・純資産合計		25,894 (100.0%)	25,845 (100.0%)	△49

キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	2024年8月期 第2四半期累計	2025年8月期 第2四半期累計
営業キャッシュ・フロー	1,184	993
税金等調整前中間純利益	930	1,174
減価償却費	300	235
売上債権の増減額(△は増加)	369	325
棚卸資産の増減額(△は増加)	△100	△58
仕入債務の増減額(△は減少)	22	△71
未払金の増減額(△は減少)	△237	△84
未払消費税等の増減額(△は減少)	96	△145
法人税等の支払額	△234	△346
投資キャッシュ・フロー	△9	△2,006
定期預金の預入による支出	－	△1,000
有形固定資産の取得による支出	△5	△6
投資有価証券の取得による支出	－	△995
財務キャッシュ・フロー	△463	△535
配当金の支払額	△462	△534
現金及び現金同等物の増減額	711	△1,547
現金及び現金同等物の期首残高	13,599	6,152
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,310	4,604

売上高は5,534百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は1,192百万円（前年同期比29.6%増）、
中間純利益は836百万円（前年同期比31.0%増）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2024年8月期 第2四半期 累計	2025年8月期 第2四半期累計						主な変動要因（前年同期比）
		実績	前年 同期比	増減額	計画	計画比	増減額	
売上高	5,547 (100.0%)	5,534 (100.0%)	△0.2%	△13	5,646 (100.0%)	△2.0%	△111	・スポット収入の減少・・・△54百万円 ・その他収入の増加・・・+40百万円
売上総利益	2,577 (46.5%)	2,799 (50.6%)	8.6%	221	2,689 (47.6%)	4.1%	109	（段階利益） 売上原価の減少 《利益増加の具体的要因》 ・前年放送のレギュラー番組等にか かる費用の反動減 ・放送月の変更による番組予算等 の下期への月ズレ ・2022年10月～2023年3月にかけて 実施したスタジオ設備更新に伴う 償却負担の軽減
営業利益	920 (16.6%)	1,192 (21.6%)	29.6%	272	992 (17.6%)	20.2%	200	
経常利益	924 (16.7%)	1,208 (21.8%)	30.8%	284	1,006 (17.8%)	20.1%	202	
中間純利益	638 (11.5%)	836 (15.1%)	31.0%	198	697 (12.3%)	19.9%	138	

		2025年8月期 第2四半期累計			
		2024年8月期 第2四半期累計	実績	前年同期比	計画 計画比
売上高		5,547 (100.0%)	5,534 (100.0%)	△0.2%	5,646 (100.0%) △2.0%
	タイム収入	4,009 (72.3%)	4,010 (72.5%)	0.0%	4,165 (73.8%) △3.7%
	スポット収入	1,164 (21.0%)	1,109 (20.1%)	△4.7%	1,048 (18.5%) 5.9%
	その他	373 (6.7%)	413 (7.5%)	10.9%	432 (7.7%) △4.3%

主な増減要因(前年対比)

- タイム収入
前期放送の大型スポーツ特番の反動減が見られたものの、競馬中継等の公営競技が好調となったほか、ショッピングが引き続き堅調に推移し、前年同期比+0.0%
- スポット収入
新規取引先の獲得等に注力したことで、回復の兆しが見られるも、前年同期比△4.7%
- その他
配信事業収入、アニメ製作委員会からの出資配当収入が好調となり、前年同期比+10.9%

主要費用項目実績（個別）

(単位:百万円、下段は売上比)

		2024年8月期 第2四半期累計	2025年8月期 第2四半期累計			
			実績	前年同期比	前年増減額	主要な増減要因
番組関連費用(原価)		1,830 (33.0%)	1,682 (30.4%)	△8.1%	△148	
	番組購入費	151 (2.7%)	194 (3.5%)	27.8%	42	視聴者ニーズを追求したドラマコンテンツの調達
	番組制作費	1,678 (30.3%)	1,487 (26.9%)	△11.4%	△190	前年放送のレギュラー番組等にかかる費用の反動減 放送月変更による下期への費用の月ズレ
放送関連費用(原価)		276 (5.0%)	274 (5.0%)	△0.7%	△1	
	放送委託費	254 (4.6%)	243 (4.4%)	△4.1%	△10	
	技術費	22 (0.4%)	31 (0.6%)	38.1%	8	
広告関連費用(販管費)		406 (7.3%)	327 (5.9%)	△19.4%	△79	
	広告宣伝費	380 (6.9%)	301 (5.5%)	△20.8%	△79	コスト効率を意識した広告宣伝施策の実施
	販売促進費	26 (0.5%)	26 (0.5%)	－%	－	

貸借対照表の概要（個別）

(単位:百万円、下段は構成比)

		2024年8月期末	2025年8月期 第2四半期末		
			第2四半期	前年増減額	主な増減要因
	流動資産	16,553 (65.1%)	15,956 (62.5%)	△596	現金及び現金同等物の減少 △534百万円 売掛金の減少 △181百万円 有価証券の増加 +99百万円
	固定資産	8,858 (34.9%)	9,556 (37.5%)	697	投資有価証券の増加 +896百万円
資産合計		25,412 (100.0%)	25,513 (100.0%)	101	
	流動負債	1,815 (7.1%)	1,596 (6.3%)	△218	未払消費税の減少 △132百万円
	固定負債	125 (0.5%)	127 (0.5%)	2	
負債合計		1,941 (7.6%)	1,724 (6.8%)	△216	
純資産合計		23,471 (92.4%)	23,788 (93.2%)	317	税引後中間純利益 +301百万円
負債・純資産合計		25,412 (100.0%)	25,513 (100.0%)	101	

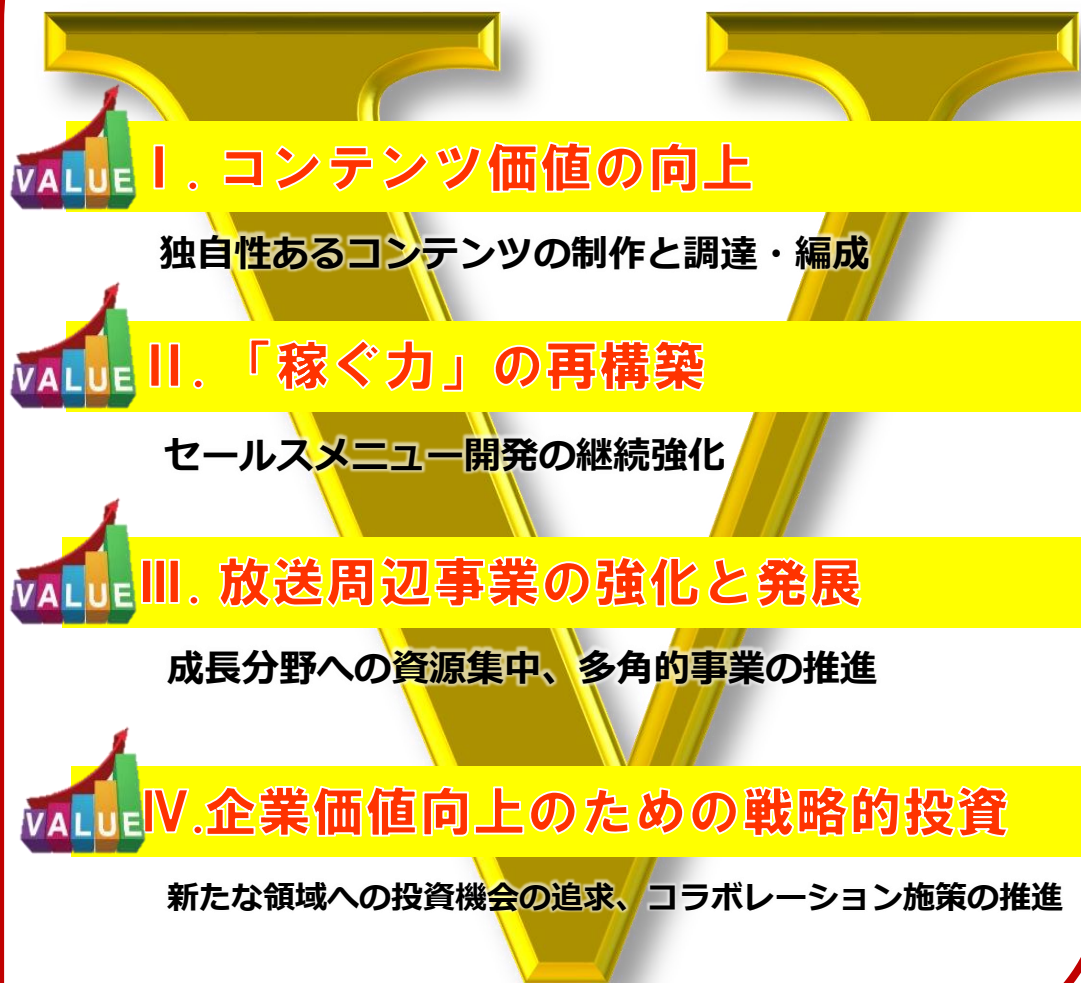
Ⅱ 重点実施事項トピックス



知恵と知識を結集して戦略を強力に実行、
これら6つの「力」を強化・実践



「6つの力」を具現化する重点施策を
新たに「Value 4」と位置づけ推進





Ⅰ. コンテンツ価値の向上

多彩なジャンルの特別番組を制作・放送



音楽

『八代亜紀いい歌いい話』にて披露した楽曲のうち、視聴者から多数リクエストのあった楽曲を振り返る。



音楽

2024年12月開催のTOKYO FM少年合唱団による「クリスマスコンサート2024」の模様をお届け。



エンタメ

“昭和100年”にあたる2025年。昭和を彩った大スターたちのお宝映像を多数お届け。



アニメ

2005年に誕生し、今年19回目となった世界最大のアニソンライブイベント「アニサマ」の模様をテレビ独占放送。



紀行・教養

(株)京都放送との共同制作番組。俳優の志田未来さんが旅人となり、冬の京都の魅力を紹介。

ドラマコンテンツの拡充





コンテンツ価値の向上

レギュラー番組の充実

BSイレブン 競馬中継

BS
ELEVEN
KEIBA RELAY

毎週土・日曜 正午～(第1部) / 午後4時～(第2部)



『BSイレブン競馬中継 SATURDAY』の新アシスタントMCに、フリーアナウンサーの森千晴さんが就任。



アニメ関連番組 毎クール40タイトル以上放送



©ゆでたまご/集英社・キン肉マン製作委員会



©2024 喜望/KADOKAWA/イファール労働組合



©宮えくみ・新澤社/「ツラッ」製作委員会



©天乃聖樹・KADOKAWA/クラ娘製作委員会



III. 放送周辺事業の強化と発展

配信事業の収益拡大



・報道番組や過去の人気番組、BS視聴者層と親和性の高いドラマコンテンツなどの再生数が好調に推移し、売上を牽引。



オリジナル配信プラットフォーム「BS11+ (プラス)」
番組放送終了後の見逃し配信・アーカイブ配信を継続的に実施している効果もあり、全体の会員数は前年同月末比で+103.0%。



「BS11公式YouTubeチャンネル」
チャンネル登録者数は、前年同月末比+35.0%となり、民放無料BS局1位の登録者数をキープ。

配信オリジナルコンテンツ制作・番組制作人材の育成



東京メトロポリタンテレビジョン(株)との共同制作WEBドラマの第1弾。
「東京創生」をテーマに企画を公募し、ドラマ化。



当時入社2年目の若手社員の企画を配信コンテンツ化。俳優の三戸なつめさんが神田明神の謎や魅力に迫る。

イベント事業推進



若手人気演歌歌手らによるスペシャル歌謡ショーを開催。配信でもお届けしたイベントの様子を4月に放送予定。



(株)文化放送との協業コンテンツ『ワールドダイスターRADIO☆わらじ』の番組イベント第3弾を開催。

VALUE I. コンテンツ価値の向上 III. 放送周辺事業の強化と発展

コンテンツの強化

NEW



『黒谷友香、お庭つくります』

各地のガーデンを訪ね、人々とのふれあいを通じながら理想のお庭づくりに挑戦！

NEW



(C) HS Entertainment Group Incorporated

『テレサ・テン 歌姫を愛した人々』

2025年に没後30年となるテレサ・テンの波乱万丈な生涯を、ストーリー制作に4年以上かけてドラマ化。日本初放送。

スポーツコンテンツの強化



女子バスケットボール Wリーグ専門情報番組



BS視聴者層に親和性の高い人気コンテンツを多数ラインアップ



©中国国際電視株式会社



©東映テレビ制作/東海テレビ



©Company A Chorlon



©「今夜はコノ字で」制作委員会2020



©KBS Media All Rights Reserved.



©松竹

『次郎長三国志』

VALUE I. コンテンツ価値の向上 III. 放送周辺事業の強化と発展

“アニメのBS11”の認知拡大



3月22日～23日にかけて行われた世界最大のアニメイベント「AnimeJapan2025」に今年も出展。2日間の累計来場者数が15.2万人を記録した本イベントで、今年も新作アニメの豪華キャスト陣によるトークステージを実施。



©VISUAL ARTS/Key/角白鳥観光協会



©バンパーガー/KADOKAWA/にんこう製作委員会



©OZのみ製作委員会

紫雲寺家
子供たち



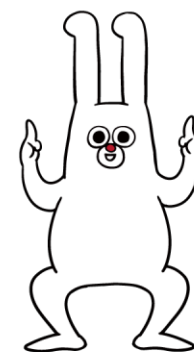
©宮島礼史・白泉社/「紫雲寺家の子供たち」製作委員会

配信事業の収益拡大



自社制作番組派生の配信オリジナルコンテンツやBS11にて放送した人気のドラマコンテンツを、BS11+、TVer等で配信。

広告宣伝施策の強化



BS11公式キャラクターじゅういっちゃん SNSと、各番組を連動させたプレゼントキャンペーンを実施。

Ⅲ 通期計画



売上高は12,314百万円(前期比0.6%増)、営業利益は2,004百万円(前期比3.8%減)、
親会社株主に帰属する当期純利益は1,407百万円(前期比3.3%減)を計画

コンテンツ強化等によるコスト増を見込むため前期比減益

(単位: 百万円、下段は売上比)

	2024年8月期		2025年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,936 (100.0%)	12,241 (100.0%)	5,889 (100.0%)	△0.8%	12,314 (100.0%)	0.6%	73
営業利益	927 (15.6%)	2,083 (17.0%)	1,159 (19.7%)	25.0%	2,004 (16.3%)	△3.8%	△79
経常利益	930 (15.7%)	2,097 (17.1%)	1,174 (19.9%)	26.2%	2,032 (16.5%)	△3.1%	△65
親会社株主に帰属 する当期純利益	642 (10.8%)	1,455 (11.9%)	801 (13.6%)	24.9%	1,407 (11.4%)	△3.3%	△48

売上高は11,600百万円(前期比2.1%増)、営業利益は2,000百万円(前期比2.8%減)、
当期純利益は1,406百万円を計画(前期比1.8%減)

(単位:百万円、下段は売上比)

	2024年8月期		2025年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,547 (100.0%)	11,357 (100.0%)	5,534 (100.0%)	△0.2%	11,600 (100.0%)	2.1%	243
タイム収入	4,009 (72.3%)	8,262 (72.7%)	4,010 (72.5%)	0.0%	8,518 (73.4%)	3.1%	256
スポット収入	1,164 (21.0%)	2,269 (20.0%)	1,109 (20.1%)	△4.7%	2,128 (18.4%)	△6.2%	△141
その他	373 (6.7%)	825 (7.3%)	413 (7.5%)	10.9%	953 (8.2%)	15.5%	128
営業利益	920 (16.6%)	2,057 (18.1%)	1,192 (21.6%)	29.6%	2,000 (17.2%)	△2.8%	△57
経常利益	924 (16.7%)	2,073 (18.3%)	1,208 (21.8%)	30.8%	2,029 (17.5%)	△2.1%	△44
当期純利益	638 (11.5%)	1,432 (12.6%)	836 (15.1%)	31.0%	1,406 (12.1%)	△1.8%	△26

2025年8月期は、期末配当金 30.0円を計画

配当方針について

- ・ 企業価値の向上や持続的な発展に向け成長を確保する一方で、株主等ステークホルダーの期待に応えられるよう、経営資源の適切な配分を行い、配当性向40%程度を基準として、株主還元の拡充を図っていく方針です。
- ・ 年1回の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金

※1株当たり当期純利益の数値は連結で表示しております。

	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期	2021年 8月期	2022年 8月期	2023年 8月期	2024年 8月期	2025年 8月期 (予想)
年間配当	19.0 円	20.0 円	20.0円	20.0円	20.0円	26.0円	30.0円	30.0円
1株当たり当期純利益	93.19 円	65.08 円	83.72円	104.83円	89.84円	77.85円	81.70円	78.97円
配当性向	20.4%	30.7%	23.9%	19.1%	22.3%	33.4%	36.7%	38.0%

IV (ご参考)会社概要



会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11”チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長 齋藤 知久 代表取締役社長 近藤 和行
設立	1999年8月
資本金	41億9,071万円（2024年8月31日現在）
従業員数	132名（連結）（2024年8月31日現在）

沿革

1999年8月	株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及に関する調査研究を目的として設立
2000年12月	BSデジタルデータ放送開始
2004年9月	東経110度CSデジタル放送開始
2007年12月	BSデジタルハイビジョン放送（BS11）開始
2010年 4月	一般社団法人日本民間放送連盟に入会
2010年11月	株式会社ジュピターテレコム（J:COM）において再送信開始
2011年10月	接触率調査（BSパワー調査）に参加
2014年3月	東京証券取引所市場第2部へ上場
2015年3月	東京証券取引所市場第1部へ上場
2018年1月	理論社・国土社の株式を100%取得し完全子会社化
2022年4月	東京証券取引所市場再編により、スタンダード市場へ移行

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

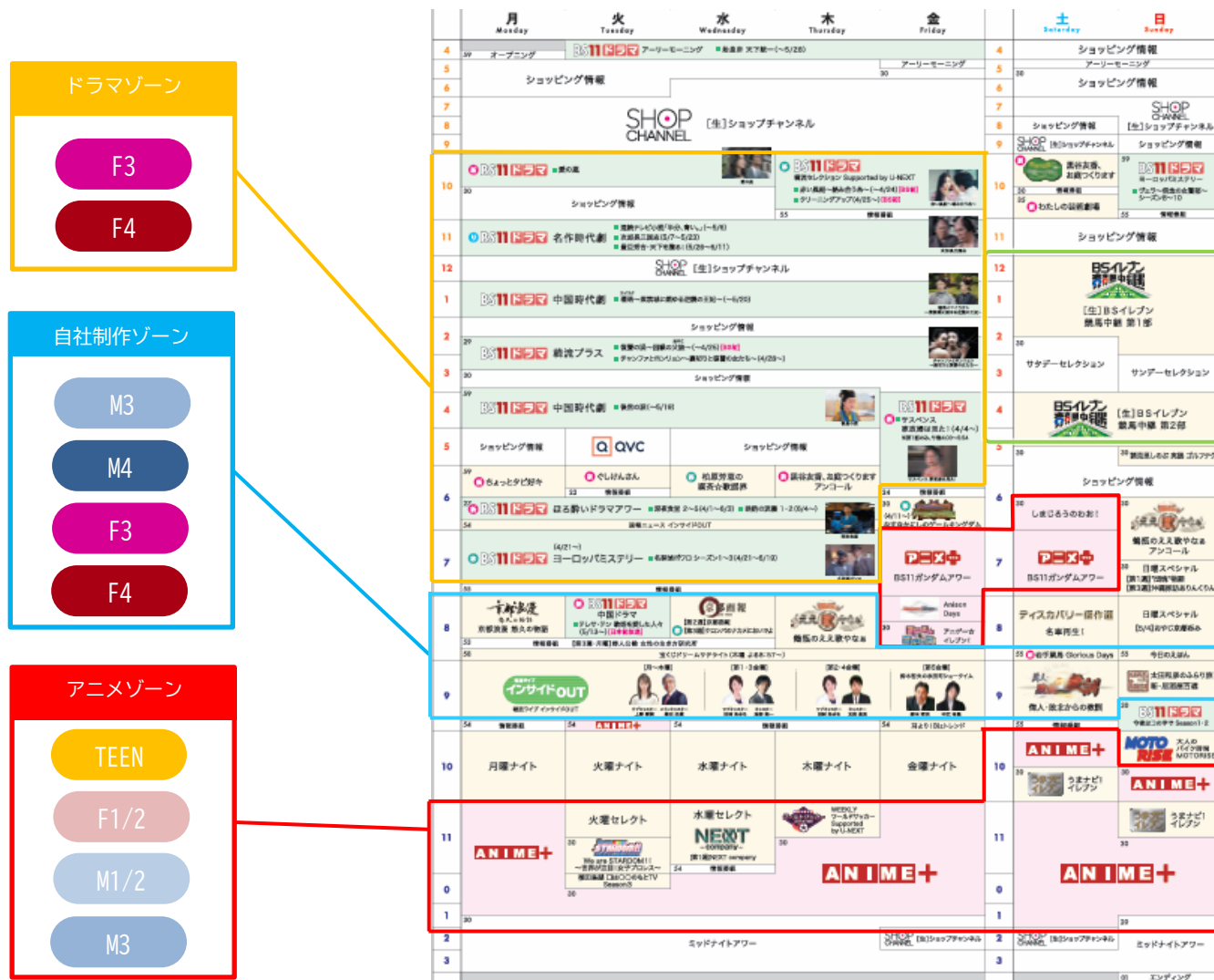
当社は、国民共有の希少資源である電波を預かる放送事業者として公共的使命と社会的責任の重要性を深く認識しています。「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え幸せな社会づくりに貢献します」という経営理念のもと、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、実効性のあるコーポレートガバナンスを実現してまいります。

全国無料BS放送局											
グループ会社	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	ジャパネット	ビックカメラ	三井物産	松竹・東急	吉本興業	放送大学
放送局	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	BSフジ	BS10	BS11	BS12	BS松竹東急	BSよしもと	BSキャンパスex BSキャンパスon
系列	地上波系列					独立系					公共
開局年月	2000年12月					2025年1月	2007年12月	2022年3月		2011年11月	
グループ	“無料BS放送6局”として視聴状況調査を実施（～2020年3月）、 共同で『メディアガイド』を作成するなどBS放送の価値向上に向けた 取り組みを実施。										

BS11の特徴

- ①独立系だからこそ**自由なコンテンツ制作・展開**が可能！
- ②『**ドラマ**』・『**アニメ**』・『**競馬**』など多岐にわたるラインナップ編成により、**幅広い年齢層の視聴者層**が存在！
- ③家電量販店**ビックカメラ**を親会社に持つため、番組・CMの放送等に加えて、**消費者へのダイレクトなコンタクトポイントが持てる企画**が可能！

BS11では曜日・時間帯ごとに視聴者ニーズに応える編成を実施
そのため、他民放BS局と比較しても**幅広い年齢層の視聴者**が存在する



ターゲット区分

	性別	年齢
TEEN	男・女	12-19歳
M1	男性	20-34歳
M2		35-49歳
M3		50-64歳
M4		65歳以上
F1	女性	20-34歳
F2		35-49歳
F3		50-64歳
F4		65歳以上

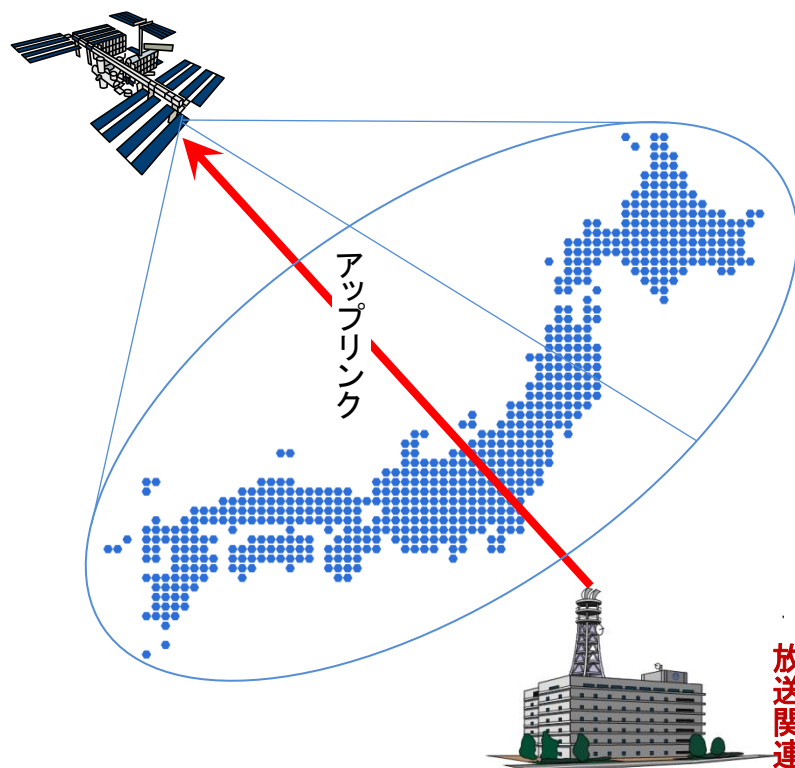
【地上波とは全く異なるコスト構造により高効率の広告ビジネスを実現】

◆地上波に比べ低コストでの放送 ⇒ 効率的な広告費で日本全国に放送可能

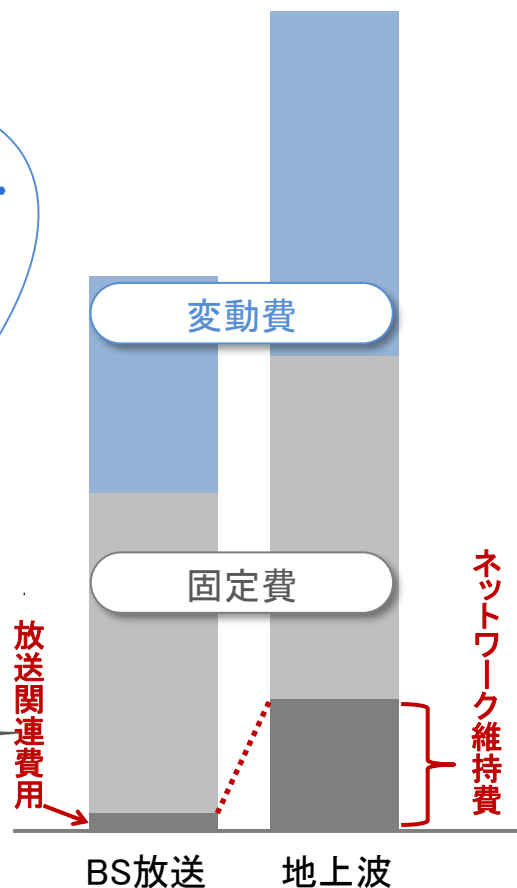
無料BS放送

コスト構造の比較

キー局系列の地上波放送



- ・日本全国に電波の送信が可能
- ・ネットワークの構築が不要



- ・少数チャンネル地域の存在
- ・嵩むネットワーク維持費

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営企画局 経営企画部

TEL 03-3518-1900

URL <https://www.bs11.jp/>

